

おいしい図書館

No. 49

図書館情報

市民交流会に 参加して

八月一日(土)、柏・図書館友の会の呼びかけによる「交流会」が柏市立図書館において開かれました。昨年に引き続きオ二回目の今回は、東葛地区に限らず、広く呼びかけて、参加者がそれぞれこの会の活動を紹介し、意見交換を行ないました。



市内図書館網はとき上りつつあるが、今後の課題はどうやって市民にとり使い易いものにしていくかというこ

と。それには近い所に良い図書館をというのと、ネットワークサービスの充実が大切なのではないかと。そして、地区の図書館を充実させる為に中央図書館が果し得るものは何かということを下から探っていきたい。地区館にアンケート用紙を置いて、それをたたき台にするなどの方法を考えている。

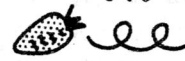
千葉市の図書館を 考える会

二十年前に司書採用された職員達が係長になる時期に来ている。その人達と信頼関係を作りたいたいと考えている。館長には全国的有名な人である元国立大学長が就任している。



開館して三年。職員十九名中司書十四名。友の会活動を目指して会が発足した。

守谷町・図書館と 歩む会



図書館へのアプローチの仕方は、図書館と共に考えている。朗読・読み聞かせなどのボラティア組織を作りたいと思っている。昨年は、図書館職員と共に読み聞かせ・お話し会を行なった。

館長には準備室長の時期から校長退職者が就任していたが、昨年、館長には司書資格者をといて図書館条例を作り、司書職員が館長に就任した。本館は三年目とも利用が減らないが、公民館図書室を町民に利用してもらうには、図書館機能を持たせることが必要なのではないか。公民館図書室はアルバイトの職員が配置され、週に二回司書が巡回している。選書はすべて本館としている。

図書館が出来上るまでは議員も協力してくれただが、出来てしまつと足が遠退いてしまった。教育長は協力的で、学校図書室にも協力員として八名が配置され、(二校に一人は予算的に無理とのこと)十三校を担当している。

土浦・新市立図書館を 考える会



人口十三万三千人。今年九月に会員二百名と会を発足する予定。現図書館は、「狭い」など利用者から不満が続出していた為、市議会が新図書館建設を進める方針を打出し、この会を議員が発案した。市は市民参加の図書館基本構想検討委員会を作る予定というので、会から参加させてほしいと考えている。

今秋には、予算三八七万円、蔵書二万冊で公民館図書室を分館にし、司書を常時配置する予定とのこと。市の南部地区に多い新住民の若い母親達が強く働きかけた結果、市としては今年南部、来年は北部、再来年は南部というように、遠い所から一つづつ分館を増やしていくつもりらしいが、市民としては今ある図書館を利用し易いようにしてほしい。以前は専任の館長はいなかったが、現在は配置されている。

図書館についてアンケートをとったところ、どこにあるのかわらない・行ったことがないなど図書館への意識の低いことがわかった。新図書館が出来るまでの間に市民に対してアピールし、良い形で新図書館に移行できればと思っている。

藤代町に 図書館をつくる会

人口三万三千人。用地もあり、町長の公約にもあるのだが、一般市民も行政も二者択一の形での福祉優先という意向が強く、凍結状態。図書館建設を公約にして議員になった会員もいるのだが……。

人口四十三万人。図書館の床面積六六〇㎡。会は図書館開館と共に発足して四年。会員二六〇名。活動内容は図書館のお手伝いで、七つの委員会に分れている。会としては大変環境に恵まれているが、図書館との対応は非常に難しいと感じている。

市川 図書館友の会



🍓 eee 流山・図書館ボランティア「葉しおり」

新図書館開館の一年後、図書館ボランティア講座終了生を中心に発足して一年。会員五十名・美化・広報・整理・お話しなど六部会がある。

会の発足時、ハード面での図書館は出来上っていた。それを如何にしていまい勝手が良いように図書館にやってもらえるかとお手伝いをして来た。市の広報紙を使って、活動報告をアピールできた。活動はあくまで個人的なもの、会をつぶさないように、図書館に受け入れられる形で一年やって来たが、図書館の意向はまだわからない。これからどうコミュニケーションしていかか探っている。

🍓 eee 我孫子・市民がつくる図書館の会

人口十二万人。会員三名。現在の本館は、元ボーリング場だった建物の二階部分にあり、他の二館は図書室。平成十、十三年度及び十四、十八年度の二期に分けての建設計画があり、調査費として五百万円が計上され具体化し始めた。今年十月には建設懇談会が九名で発足するが、その中に当会から参加させてほしいと申入れてある。図書館建設に向けての活動と手一杯で、図書館に対するボランティアなどはしていない。又、図書館の意向によって会が動くつもりはない。会報は全議員に送っている。



会員七十名・中四名が新議員に、議員二十四名に

🍓 eee 沼南町の図書館を 考える会

会報を送っている。現在の公民館図書室を二五倍に拡張することとお茶を濁されるのではないかと心配している。図書館に関心を持っている町民は沢山いるのではないかと。しかし、柏経由と通勤している人が多く、柏の図書館に一五〇名位登録している。その他、我孫子や松戸などで借りられるのと、町民はそれ程不満を感じていないのではないかと。



人口三十一万人。分館は十四あるが、いずれも一五〇〜一八〇冊、三、四万冊と、それぞれに司書一名、臨時職員一名が配置されている。



市民の運動体として会を充足して四年目。図書館職員十名を含む三十余名の会員の中にも、体質の差はある。一般市民へのアプローチは難しいが、一年に一人とも会員が増えてくれれば良いと思っ

ている。会員がそれぞれ「職員」、「利用者」という「立場」に立って図書館をきちんと見てもらいたい。
この二十年間図書館に変化はなく、市民はそれに慣らされてしまっている。利用者懇談会を開き続けてはいるが、今ある図書館をより良いものにしていくのは難しいのではないか。先進の良い図書館を見、それを行政に知らせていく必要がある。会としては、図書館と協力しな

がら楽しい会を作って行きたい。新中央図書館建設は、現在凍結状態である。

最後に...

「千葉市の図書館を考える会」の近藤さんが、「図書館利用者は目眠れる羊だと思つ。一人ずつ利用しているの行政へのプレッシャーにはならないが、図書館への要望は質的に高いし、沢山持っているはずだ。行政資料として女性センターなどとオンライン化し、市民一人一人の要望を取り上げ、提示して行つたらどうか。」

会の活動などが思うように行かず元気がなくなつたら、他のグループと交流して元気をもらうのも良い方法だ。

図書館人も運営能力をつけて

ほしいが、口人（職員・専門職）の問題は市民が要望して行くしかないのではないか。としめくくり、一年後の再会を約して会を終わりました。

「これからどうにかして新しい良い図書館がほしい」という会と、「出来上った図書館にどう関わつたら良いのか」という会と、それぞれ抱えている問題が違つ中ぞ、どこに接点を見つけて交流して行くかに難しさがあると感じましたが、ともかくお互いに元気をもらい合える接しい会でした。



(五月木和子)

発行 おーい 図書館
連絡先 青木和子

松戸市松台ハニョミ六

047 367-5384